

# えがお通信



2022年度2月号

社会福祉法人 尚徳福祉会

おぐら保育園 園長 酒井和子



まだまだ寒い日が続きますが、子どもたちは外では、白い息を吐いたり、冷たい風に頬を赤くしたりと小さな体で季節を感じています。園内では、毎日子どもたちの元気な笑い声があふれ、まるで一足先に春が来たように感じます。

早いもので、2023年もあっという間に1か月が過ぎました。時の流れの早さに少し驚いています。残り2か月の時間を、これまで以上に一日一日を大切に子どもたちと過ごしていきたいと思っています。



## 2月の行事

3日（金）節分会食

7日（火）えいごで遊ぼう

8日（水）避難訓練

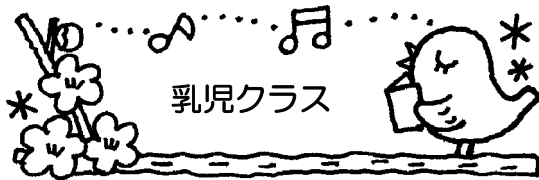
18日（土）いちご・みかん・もも組懇談会

21日（火）えいごで遊ぼう

22日（水）避難訓練

27日（月）乳児誕生会

28日（火）幼児誕生会



乳児クラス



幼児クラス

子どもたちが好きな遊びはたくさんありますが、根強い人気なのが「おままごと」。保育室や砂場で何か作っている姿や、「ハイ、どうぞ」と食べ物食べている真似をしている姿が見られます。

お手伝いが大好きな子どもたち。食事のワゴンの片付けを喜んでやってくれたり、お掃除も手伝ってくれたりしています。先生たちの【ありがとう】の言葉に笑顔があふれています。

### 豆まき

「2月3日」は豆まき。「ツノはどうしようかな」「かみのけはどうしよう？」など子どもたちアイデアたっぷりのとても素敵なお面ができていました。飾ったお面には子どもたちの個性があふれ出ています。「鬼は外！福は内！」子どもたちの元気なかけ声が響き渡ることでしょう。豆まきで自分の中のちょっと苦手な鬼を退治し、たくさんの福を呼び入れるといいですね。



### 節分

「節分」とは、季節を分けるという意味で、本来は季節が始まる日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日の事を言い、その中で、春が始まる立春の前日の2月3日が現在の節分です。昔は、春から四季が始まるように、立春を1年の始まりとし、1日前が大みそかでした。季節の変わり目には鬼が出るとの言い伝えで、豆で悪い物とされていた鬼を追い払い、素晴らしい春を迎え幸せな一年にするため、立春の前日が節分として残ったと言われています。豆は「魔目・魔滅」のごろ合わせで、生の豆から芽がでない様に必ず炒った豆を使います。子どもたちには、「昔は節分が大みそかで、鬼がやってきた」ことと、「豆まきは悪い鬼を追い払うためにする」こと、そして「これから春が始まり幸せな一年になるように願いをこめる」ことを年齢に合わせて伝えたいと思います。



### 恵方巻

ゆり組が恵方巻に挑戦！  
1メートルの海苔に具材を乗せて、みんなで「せーの！」の掛け声に合わせての恵方巻き作り。どんな恵方巻ができるか楽しみです。



### 懇談会

1月28日（土）に保育園生活最後のゆり組懇談会が無事に終了しました。2月18日（土）は乳児クラス、3月4日（土）はちゅうりっぷ、たんぽぽ組の懇談会を予定しています。今年度、最後の懇談会になりますので、ぜひご参加ください。



### ・・・注意！子どもの鼻水・・・

子どもが鼻水をたらしていても「熱はないし、鼻水くらい・・・」とっていませんか。鼻水は咳や熱と違って後回しにされがちです。子どもは耳と鼻をつなぐ耳管が太く短いので、鼻の菌が耳に入りやすい構造をしています。そのため中耳炎になりやすいです。鼻が出たら、早目の受診と上手に鼻をかむことが大切です。

### 【お知らせ】

各クラスの掲示でもお知らせさせていただきましたが、2月より現在持参していただいていたコップは持参不要として、紙コップを使用したいと思います。

